

9月17日「市民の会」と介護保険課・高齢者福祉課等で懇談

芳川の里も加入の「介護・医療と社会保障を考える市民の会」は9/17市介護保険課・高齢者福祉課・障害福祉課と懇談。19項目の質問・要望に回答、意見交換しました。

紙面の関係で、そのうち一部を紹介します。

OH29・30年度開設の特別養護老人ホームの空床が埋まらない深刻な状況の改善を

市の回答：空床一覧表を提示。市内全体で昨年8月1日時点にて入所率92.4%、空床372床。今年4月1日時点で入所率92.5%、空床は368床と昨年とほぼ同じ状況。

懇談での意見（以下、意見）：待機者沢山いて、ベッド空いている。変ですね。介護施設へのアンケートでも一番の課題は人材不足。空床対策の一番は介護人材確保ではないですか。

いくつかの施設の状況	定員	入所者	空床	入所率	開設又は増設
A 昨年 8/1	120	89	31	74.2%	H29/4 30 増床
〃 今年 4/1	〃	86	34	71.7%	〃
B 昨年 8/1	70	34	36	48.6%	H29/4 新設
〃 今年 4/1	〃	40	30	57.1%	〃
C 昨年 8/1	70	47	23	67.1%	H29/4 新設
〃 今年 4/1	〃	49	21	70.0%	〃
D 昨年 8/1	90	30	60	33.3%	H30/4 新設
〃 今年 4/1	〃	46	44	51.1%	〃

○介護人材の確保の為の特別な措置、資格取得費用の大幅増額と申請報告手続き簡略化を
回答：介護人材確保対策を次期「はままつ友愛の高齢者プラン」の中で検討。個別の事業については各年度の予算要求に合わせて計画してまいります。

意見：キャリアアップ事業の額が大きいので良い。もっと周知を。転職し無資格の人が多
いので、初任者研修にもっと力を入れてほしい。介護福祉士資格も対象にしてほしい。

例えば、京都市は新型コロナ感染による経済悪化に伴う介護等の担い手確保のため、特養
ホーム、介護老人保健施設に採用された方に月1万円など支援金の支給事業を実施する。

懇談での市の追加回答（以下、追加）：個人給与に補填は難しいが、他市町の情報を得てや
り方を試行錯誤したい。ご意見ありましたら教えてほしい。今年度、奨学金を返しなが
ら介護事業所に勤務する方へ返済金の半額を補助する制度スタートさせた。周知したい。

○特養入所特例措置（要介護1・2でも入所できる）の特例措置の実績を教えてください

回答：照会件数、R1年度128件、R2年8月末まで44件。うち市意見該当表明37件、非
該当1件、取り下げ6件。非該当、取り下げはいずれも家族、事業所は納得された。

○新規申請の時点で、希望者に利用料の概算がわかるように負担割合証を発行して下さい

回答：法律的な位置付けは要介護認定が決まった段階で発行。

意見：横浜市、津市などでは要介護認定申請の際、希望者に発行している。

追加：非該当の場合がある。区役所窓口にて本人確認できれば何割負担かお伝えできる。

○紙おむつの支給は現物でなく、磐田市のようにおむつ券支給に変えて下さい

回答：利用者の意向調査は今後検討。R1年度実績は、実支給人数125人、支給総額674万
9千円、平均5万4千円、8万円以上39人。上限額が10万円からR2年度から8万円に減
額された理由は厚労省から介護用品支給事業の廃止・縮小の検討の通知があったため。

意見：欲しい製品を欲しい時に必要だけ買える方が良い。意向調査をしてほしい。

他、バス・タクシー券等高齢者の社会参加・足の確保を、非常用バッテリー・発電機の
購入助成を吸引器、酸素濃縮器にも広げて等、質問、要望をしました。（居宅・加茂圭三）

